

再評価結果（平成17年度事業継続箇所）

担当課：道路局国道・防災課
担当課長名：鈴木克宗

事業名：一般国道 294号 江花バイパス	事業区分：一般国道	事業主体：福島県
起終点：自：福島県須賀川市勢至堂 至：福島県須賀川市江花		延長：3.9 km
事業概要 国道294号は千葉県柏市を起点とし、福島県会津若松市に至る延長約225kmの主要な幹線道路であり、広域的な連携・交流を促す重要な路線である。江花バイパスは、幅員狭小区間及び落石危険箇所の解消を図り、安全で円滑な交通の確保を目的とした、延長3.9kmの2車線道路である。		
H1年度事業化	H 年度都市計画決定 (H 年度変更)	H2年度用地着手
		H5年度工事着手
全体事業費	約34億円	事業進捗率
		71%
		供用済延長
		1.8km
計画交通量	2,330台/日	
費用対効果 分析結果	B/C (事業全体) 2.0	総費用 (残事業)/(事業全体) 11 / 45億円
	(残事業) 3.7	総便益 (残事業)/(事業全体) 39 / 87億円
	事業費：8 / 40億円 維持管理費：3 / 5億円	基準年：平成16年
	走行時間短縮便益：38 / 84億円 走行費用減少便益：1 / 3億円 交通事故減少便益：0 / 0億円	
事業の効果等 ・国土・地域ネットワークの構築（県南地域、会津地域生活圏が強化される） ・災害への備え（H8防災点検要対策箇所（落石）の解消が図られる）		
		他1項目に該当
関係する地方公共団体等の意見 国道294号は、地域交流の促進に重要な役割を果たすことが期待されており、長沼町（現 須賀川市）を含む1市2町2村の議会議長からなる岩瀬地方市町村議会議長会より早期整備の要望（平成16年11月10日）を受けている。		
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等 勢至堂峠（平成6年度）、黒森峠（平成16年度）が改良されたことにより、須賀川市～会津若松市で本工区が唯一残る要整備区間（幅員狭小及び落石危険箇所）となっている。		
事業の進捗状況、残事業の内容等 これまでに、用地買収が81%進捗し、主要構造物である江花大橋、閻魔沢橋を含む1.8kmを供用している。平成19年度までに用地買収が完了し、残る2.1km区間については改良工事を実施している。		
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等 平成19年度までに用地買収を終了する予定であり、橋梁及び改良工事を促進し、平成22年度の全線供用予定である。		
施設の構造や工法の変更等 耐候性鋼材を橋梁に採用し、ライフサイクルコストの縮減を図る。		
対応方針	事業継続	
対応方針決定の理由	以上の状況を勘案すれば、当初から事業の必要性、重要性は変わらないと考えられる。	
事業概要図		

総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したものの。